

KASAI データバンク	人口 / 47,847 ( - 60)	世帯数 / 16,921 ( ± 0)
H23.1.31 現在 (前月比)	男 / 23,318 ( - 18)	女 / 24,529 ( - 42)
	1月の出生数 / 20人	死亡数 / 39人



▲1月30日には、原始人会交流館(上万願寺町)で記念イベントが開かれ、試乗会などが行われました。

## 大幅に増便して「はっぴーバス」が運行

西在田地区と在田地区の一部で、2月1日から「はっぴーバス」が走り始めました。

中富口(殿原町)を起点とした若井線、万願寺線、芥田線があり、それぞれ月曜から金曜日まで毎日往復6便を運行します。診療所、郵便局、スーパーなどの近くに停留所を設けて、日常生活の利便性を図っています。3路線とは別に根日女の湯線もあります。

このバスは、従来のコミュニティバスに代わるもので、公募で選ばれた地元西在田地区のNPO法人原始人の会が運営します。半年間は運賃無料で、それ以降は利用状況やアンケート結果をもとに料金設定される予定です。

同地区は、市内でも高齢化率が29%(20年度末)と市内平均より5%も高く、主に高齢者の生活の足を確保するため、市が神姫バスに委託して平成12年6月からコミュニティバスを運行してきました。しかし、週2日の運行で1日3往復、使い勝手も悪く、平成21年度の利用者は1日約10人、1便約3人でした。

そこで効率的で市の負担も少なくなる地域公共交通のあり方を、加西市公共交通活性化協議会や地元自治会などと数年にわたって協議を重ねてきた結果、西在田地区の「住民が主体となって運営する新しいバス運行」が実現しました。運行本数は週12便から週90便に増えました。12人乗りのワゴン車ですから、集落内の細い道も走ります。バス停も70ヶ所となり、一挙に3.5倍に増えました。高齢者にとってもご近所や庭先に行く感覚でバス停まで歩いていただけます。市の負担も年間650万円と少なくとも約1割減ると試算しています。(市長)

## 「さわやか市民賞」を7名に贈呈

加西市は1月28日、芸術、スポーツなどの分野で優秀な成績を収めた次の皆さんに「さわやか市民賞」をお贈りしました。

### ■三船星矢(賀茂小学校2年)

平成22年度第34回「てのひら文庫賞」読書感想文全国コンクールで、文部科学大臣奨励賞を受賞。

### ■大野祥嵩(泉小学校3年)

兵庫県農業共済組合連合会主催の第10回「農」絵画コンクールで、兵庫県知事賞を受賞。

### ■松岡龍志(北条小学校4年)

平成22年度ものづくり子供絵画展で、兵庫県知事賞を受賞。

### ■黒田瑞希(北条東小学校5年)

平成22年度(社)日本木造住宅産業協会「木の家・こんな家に住みたい」全国作文コンクールで、文部科学大臣賞を受賞。

### ■小篠志央仁(西在田小学校6年)

平成22年度全国小・中学生作文絵画コンテスト絵画の部で、国立天文台長賞を受賞。

### ■常峰雅文(滝川第二高校3年/泉中学校出身)

滝川第二高校は第89回全国高等学校サッカー選手権大会で優勝。準決勝などに出場し、チームの優勝に貢献。

### ■松末侑大(愛知大学3年/加西中学校出身)

中学・高校時代からバレーボール選手として活躍し続け、2010年度大学日本一を決める男子王座決定戦では全国3位という成績でチームに貢献。



▲後列左から、常峰くん、市長、松岡くん、松末さん(母が代理出席)、前列左から、三船くん、大野くん、黒田さん、小篠くん

## 市内の中学生が国際的指揮者から指導

市民会館でのコンサートを前にした指揮者の佐渡裕さんから、市内4中学校の吹奏楽部の生徒約100人が、楽器の演奏の仕方について指導していただきました。

生徒たちは、夏休みから練習を重ねてきた吹奏楽曲「アフリカンシンフォニー」を演奏し、佐渡さんからは「すばらしい。鍛えがいがあるぞ」と、約1時間に渡り情熱的な指導を受けました。生徒たちも「貴重な体験をしました。練習に励みます」と感激していました。



▲1月20日に健康福祉会館で開催された、明日来の会主催の「プラスバンドクリニック」。指揮者は佐渡裕さん。



▲2部門受賞した西脇さん

## 快挙「お米甲子園2010」の2部門で受賞

「お米甲子園2010コンテスト」の表彰式が1月22日、兵庫県公館で行われ、西脇真也さん(玉野町)が、コシヒカリ部門で優秀賞、キヌヒカリ部門で奨励賞を受賞されました。

今回で7回目となる同コンテストは、県内の農家が生産した自慢のお米の味を競うもので、362点の応募がありました。2部門での受賞は西脇さんだけです。

## ボランティアの輪を広げよう

「小さな力で広がる笑顔、防災意識」をテーマに「第12回ボランティアのつどい」が1月22日、健康福祉会館で開催されました。

活動に対する表彰や市内小・中・高校生によるボランティア体験発表のほか、被災地NGO協働センター代表による講演などが行われ、参加者は日頃の活動の必要性について再認識しました。



▲災害訓練の一環として、ボランティアの方々がつくったカレーが、参加者にふるまわれました。



▲1月18日に善防園へ訪問し、寄贈する実行委員会のメンバー

## 新成人が生活用品を施設に寄贈

新成人が1月11日から20日の間に、タオルなどの生活用品780点を、善防園ほか福祉施設7カ所へ寄贈しました。

1月8日に開催された成人式に、参加者から持ち寄られたものです。成人式実行委員会が社会貢献の取り組みの一つとして、市内福祉施設へ生活用品を寄贈することを呼びかけていました。



▲児童自身も絵を描くことで交通安全の重要性を考えました。

## 地域が一体となって交通安全を呼びかける

加西市交通安全協会西在田支部(和田隆宏支部長)と西在田小学校6年生が、飛び出しに注意してもらおうと、看板「飛び出し坊や」を作成しました。

同支部の会員が子どもの姿を型取ったベニヤ板に、児童21人が約4時間かけてペンキで顔や服を描きました。この活動は今回で10回目。飛び出し坊やは、交差点や見通しの悪い道路などに設置されます。